

平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 2 月 8 日

上場会社名 フィールズ株式会社

(コード番号：2767 JASDAQ)

(URL <http://www.fields.biz>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 山本 英俊  
責任者役職・氏名 取締役計画管理本部長 山中 裕之

TEL：(03) 5784-2111(代)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
税金費用の計算等につきましては、一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結（新規） 3社

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満は切り捨てて表示しております)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	64,144	(45.9)	4,696	(245.5)	5,041	(187.4)	2,295	(236.0)
18年3月期第3四半期	43,957	(7.1)	1,359	(△58.1)	1,754	(△48.4)	683	(△66.2)
(参考)18年3月期	96,814		12,348		13,127		7,085	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	6,615 33	— —
18年3月期第3四半期	1,968 81	— —
(参考)18年3月期	20,118 14	— —

- (注) 1. 期中平均株式数 平成 19 年 3 月期第 3 四半期 347,000 株 平成 18 年 3 月期第 3 四半期 347,000 株  
平成 18 年 3 月期 347,000 株
2. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	66,490	41,596	60.1	115,191 56
18年3月期第3四半期	47,558	33,317	70.0	96,014 71
(参考)18年3月期	87,556	39,411	45.0	113,275 37

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	8,419	△2,540	1,342	23,035
18年3月期第3四半期	5,836	△2,423	△1,145	15,603
(参考)18年3月期	6,164	△2,224	△1,540	15,777

3. 平成 19 年 3 月期の連結業績予想（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

通 期	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
	109,880	14,150	7,480

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 21,556円20銭

平成 19 年 3 月期の業績予想につきましては、平成 18 年 10 月 30 日付「業績予想(連結)の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

# 経営成績および財政状態

## 1. 経営成績（連結）の進捗に関する情報等

### 【PS・フィールド】

（パチンコ遊技機販売事業）

各提携メーカーのパチンコ遊技機の販売が概ね順調に推移いたしました。アイドルデュオをコンテンツといたしました株式会社ビスティ製「CR WINK」、本宮ひろ志氏の人気マンガ「サラリーマン金太郎」をコンテンツといたしましたサミー株式会社製「CR サラリーマン金太郎」を発売いたしました。なお、人気アイドルの二人をコンテンツにいたしましたサミー株式会社製「CR シーカップ」につきましては、平成 18 年 12 月納品のため第 3 四半期発売商品となりますが、当社の売上計上基準に従って第 4 四半期に売上が計上されます。

以上の結果、第 3 四半期におけるパチンコ遊技機の販売台数は、前第 3 四半期 72,884 台の販売実績に対し、2 機種投入の 42,026 台の販売実績となり前年同期比約 42.3%減となりました。

第 1 四半期から第 3 四半期まで（平成 18 年 4 月 1 日～12 月 31 日）におけるパチンコ遊技機の累計販売台数は、前第 3 四半期 147,228 台の販売実績に対し、6 機種投入の 165,297 台の販売実績となり前年同期比約 12.3%増の拡販となりました。

（パチスロ遊技機販売事業）

各提携メーカーのパチスロ遊技機の販売が概ね順調に推移いたしました。平成 18 年 10 月 1 日より納品いたしました株式会社ビスティ製「トゥームレイダー」（累計約 6 万台販売）は、第 2 四半期に一部出荷分が売上計上されましたが、第 3 四半期におきましても第 2 四半期の売上未計上分約 2 万台が売上計上されました。

当社におきましては、旧規則対応パチスロ遊技機から新規則対応パチスロ遊技機への移行に伴って、シリーズ化された人気映画をコンテンツといたしました株式会社ビスティ製「ロッキー・バルボア」、水島新司氏の野球マンガをコンテンツといたしました株式会社ロデオ製「ドカベン」を発売すると同時に、発売機種と連動する形で、パチスロ市場の活性化を図り、潜在顧客層の開拓と稼動促進を目的とした「WE LOVE パチスロキャンペーン」を継続的に実施いたしております。

以上の結果、第 3 四半期におけるパチスロ遊技機の販売台数は、前第 3 四半期 16,242 台の販売実績に対し、3 機種投入の 29,724 台の販売実績となり前年同期比約 83.0%増となりました。

第 1 四半期から第 3 四半期まで（平成 18 年 4 月 1 日～12 月 31 日）におけるパチスロ遊技機の累計販売台数は、前第 3 四半期 101,285 台の販売実績に対し、6 機種投入の 136,260 台の累計販売実績となり前年同期比約 34.5%増の拡販となりました。

### 【ゲーム・フィールド】

同フィールドの主要な連結子会社である株式会社ディースリーの業績は概ね順調に推移いたしました。

（国内）

コンシューマ事業につきましては、ハードの出荷が好調な「ニンテンドーDS」向け『SIMPLE DS シリーズ』など、主にライトユーザーをターゲットとした低価格ゲームソフト『SIMPLE シリーズ』で新たに 11 タイトル（第 3 四半期累計で 26 タイトル）を発売いたしました。また、『SIMPLE シリーズ』で好評を博した『THE 地球防衛軍 2』及び『THE お姉チャンバラ』を、「Xbox360」向けに『地球防衛軍 3』及び『お姉チャンバラ vorteX』として発売するなど新たな展開を進めるほか、女性向けゲームソフト『マーメイドブリズム』やパチンコパチスロ攻略ソフト『CR フィーバー パワフル ZERO』『CR 松浦亜弥』をはじめとしてコアゲームユーザーをターゲットとしたフルプライスゲームソフト 6 タイトル（第 3 四半期累計で 12 タイトル）を発売いたしました。

以上の結果、第 3 四半期におけるゲームソフトの国内販売本数は、17 タイトル投入の 38 万本となりました。

第 1 四半期から第 3 四半期まで（平成 18 年 4 月 1 日～12 月 31 日）におけるゲームソフトの累計国内販売本数は、38 タイトル投入の 115 万本となりました。

モバイル事業につきましては、新たに携帯電話向けリッチゲームコンテンツとして『SIMPLE500 シリーズ』（ダウンロード課金制）の配信を開始し、第一弾として『THE 地球防衛軍モバイル』をリリースするなど、コンシューマ事業で培ったコンテンツのマルチユースを進めながら新たな携帯ゲームユーザーの開拓を

進めてまいりました。一部キャリアにおいてダウンロード課金制であった低価格ゲームコンテンツ『SIMPLE100 シリーズ』が全キャリアにおいて月額課金制サービスとなるなど、安定的かつ柔軟な収益構造の構築に努めてまいりました。引き続き毎月同シリーズの新作ゲームコンテンツを配信し、女性向けコンテンツ『こちら胸キュン乙女』（月額課金制）はコンシューマ事業と連動して随時新作アプリをリリースすることにより会員数が堅調に推移いたしました。

（海外）

北米におきましては、グローバルコンテンツ第1弾となる『Flushed Away』を発売し、47万本を出荷いたしました。また『NARUTO2』の「ゲームボーイアドバンス」向けタイトルを平成18年10月に発売し、『NARUTO』は2タイトル合計で30万本を出荷いたしました。欧州におきましても、『Flushed Away』を発売し、36万本出荷いたしました。

以上の結果、第3四半期におけるゲームソフトの海外販売本数は、4タイトル投入の北米83万本、欧州42万本の計126万本となりました。

第1四半期から第3四半期まで（平成18年4月1日～12月31日）におけるゲームソフトの累計海外販売本数は、12タイトル投入の北米145万本、欧州45万本の計191万本となりました。

## 【その他フィールド】

同フィールドの主要な連結子会社であるジャパン・スポーツ・マーケティング株式会社におきましては、平成18年9月よりトータル・ワークアウトの料金体系を一新し、新たなプログラムの追加を行うなどの施策を行いました。中間期末時点と比して総会員数及びパーソナルトレーニング本数が微減したことなどを主要因として低調な業績となりました。

以上の結果、第3四半期における経営成績は下記のとおりとなりました。

**売上高**は、前年同期比20,187,010千円（45.9%）増加の64,144,435千円となりました。

**営業利益**は、前年同期比3,337,415千円（245.5%）増加の4,696,745千円となりました。

**経常利益**は、前年同期比3,287,447千円（187.4%）増加の5,041,650千円となりました。

**四半期(当期)純利益**は、前年同期比1,612,339千円（236.0%）増加の2,295,518千円となりました。

## 2. 財政状態（連結）の変動状況に関する定性情報

### キャッシュ・フローの状況

第3四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税金等調整前四半期純利益が5,107,332千円となり、売上債権の減少、仕入債務減少、固定資産取得による支出、借入金の増加等により、前連結会計年度に比べ7,258,529千円増加し23,035,843千円（前連結会計年度比46.0%増）となりました。

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は、8,419,833千円（同36.6%増）となりました。これは主に役員退職慰労引当金の減少607,100千円、売上債権の減少32,779,308千円、たな卸資産の増加1,378,959千円、仕入債務の減少21,758,239千円、法人税等の支払6,815,652千円などによるものです。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動における資金の減少は2,540,244千円（同14.2%増）となりました。これは主に有形固定資産取得による支出366,926千円、無形固定資産取得による支出894,601千円、投資有価証券の取得による支出1,108,846千円などによるものです。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の増加は1,342,464千円（同—%）となりました。これは主に短期借入金の増加1,081,364千円、長期借入金による収入1,633,019千円（純額）、配当金の支払1,321,919千円などによるものです。

### 3. 通期の見通し

#### 【PS・フィールド】

(パチンコ遊技機販売事業)

第4四半期におきましては、平成18年12月末よりCMなどのプロモーションを開始し、大型商品化権を使用したシリーズ第3弾となる株式会社ビスティ製「CR 新世紀エヴァンゲリオン～奇跡の価値は～」を平成19年1月29日より導入を開始し、好調な受注を頂いております。また、株式会社オリンピアとの提携によるパチンコ遊技機の第一弾として、株式会社ディースリーのゲームコンテンツを用い、藤原紀香さんを主演として起用した「CR プロジェクトミネルヴァ」の発売を予定しております。

(パチスロ遊技機販売事業)

パチンコホールにおきましては、新規規則対応パチスロ遊技機への移行がよいよ本格化してまいりました。今後、新規規則対応パチスロ遊技機は出玉ではなく多様な楽しみを提供するゲーム性が豊かな遊びへと変化してまいります。当社は、保通協適合済の豊富なバリエーションの中から5機種を第4四半期に同時発表いたしました。この試みは、パチンコホールの計画的な入替に貢献することだけではなく、キャラクターやコンテンツの持ち味を生かし、明確なテーマ性を志向する機種構成を可能にすることによって、パチンコホールの集客効果を高め、新規規則対応パチスロ遊技機への幅広い支持を実現するものと考えております。例を挙げるとすれば、パチンコホールにおきまして、格闘技ファン向けに『闘魂コーナー』として第4四半期発表の「プレミアムダイナマイト」、第3四半期発売の「ロッキー・バルボア」、そして他社機の格闘技ものを組み合わせ合わせた機種構成や、パチスロファンに根強い人気がある『学園青春もの』として「魁!!男塾」「GTO」「ドカベン」などの機種をラインナップされることが可能となります。

#### 【ゲーム・フィールド】

同フィールドの主要な連結子会社である株式会社ディースリーのコンシューマ事業につきましては、女性ユーザー向けに『VitaminX』、パチンコパチスロファン向けに『CR フィーバー キャプテンハーロック』をはじめフルプライスゲームソフト4タイトルの発売を予定しております。また、低価格ゲームソフト『SIMPLE シリーズ』の新作リリース(5タイトルを予定)によるラインナップの充実を図りながら既発売タイトルの販売促進により販売増加を図ってまいります。

モバイル事業につきましては、『SIMPLE100 シリーズ』及び『こちら胸キュン乙女』のより一層の会員増を図るべく諸施策を講じるとともに、全てのキャリア向けに新たに配信を開始した『SIMPLE500 シリーズ』のコンテンツの充実を図る予定です。

昨年開催された東京ゲームショー 2006 におきまして海外のゲームユーザーからも注目を集めた『地球防衛軍3』(Xbox360向け)の北米展開(『Earth Defense Force 2017 (仮題)』)を予定しております。

〔添付資料〕

## 1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	前第3四半期		当第3四半期		(参考) 平成18年3月期	
	(平成17年12月31日現在)		(平成18年12月31日現在)		(平成18年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%
I 流動資産						
1. 現金及び預金	15,603,915		23,036,843		15,777,313	
2. 受取手形及び売掛金	5,616,662		14,703,152		46,385,995	
3. たな卸資産	346,441		3,029,893		1,568,986	
4. 商品化権前渡金	3,743,765		—		—	
5. その他	4,541,973		6,876,127		6,296,702	
6. 貸倒引当金	△ 33,533		△ 49,530		△ 149,225	
流動資産合計	29,819,225	62.7	47,596,485	71.6	69,879,772	79.8
II 固定資産						
1. 有形固定資産	4,729,105	9.9	4,616,613	6.9	4,689,155	5.4
2. 無形固定資産	3,340,306	7.0	3,367,790	5.1	2,752,383	3.1
3. 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	6,380,470		7,030,619		6,991,655	
(2) その他	3,512,173		4,032,981		3,398,027	
(3) 貸倒引当金	△ 222,554		△ 153,931		△ 154,461	
投資その他の資産合計	9,670,089	20.4	10,909,669	16.4	10,235,222	11.7
固定資産合計	17,739,501	37.3	18,894,073	28.4	17,676,761	20.2
資産合計	47,558,726	100.0	66,490,558	100.0	87,556,534	100.0

(単位：千円)

期 別 科 目	前第3四半期 (平成17年12月31日現在)		当第3四半期 (平成18年12月31日現在)		(参考) 平成18年3月期 (平成18年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
		%		%		%
(負債の部)						
I 流動負債						
1. 買掛金	5,143,660		12,872,723		34,869,095	
2. 短期借入金	430,000		1,834,200		730,000	
3. 1年内返済予定長期借入金	232,068		935,568		214,668	
4. 1年内償還予定社債	50,000		120,000		110,000	
5. 賞与引当金	9,652		6,500		25,000	
6. 役員賞与引当金	—		50,000		—	
7. その他	2,527,664		4,457,701		6,577,747	
流動負債合計	8,393,046	17.7	20,276,693	30.5	42,526,511	48.6
II 固定負債						
1. 社債	550,000		430,000		490,000	
2. 長期借入金	430,664		1,465,002		366,997	
3. 退職給付引当金	165,242		186,706		162,648	
4. 役員退職慰労引当金	592,200		—		607,100	
5. その他	2,350,866		2,536,150		2,380,985	
固定負債合計	4,088,973	8.6	4,617,859	6.9	4,007,730	4.6
負債合計	12,482,019	26.3	24,894,552	37.4	46,534,242	53.2
(少数株主持分)						
少数株主持分	1,759,601	3.7	—	—	1,610,739	1.8
(資本の部)						
I 資本金	7,948,036	16.7	—	—	7,948,036	9.1
II 資本剰余金	7,994,953	16.8	—	—	7,994,953	9.1
III 利益剰余金	16,716,385	35.1	—	—	22,726,469	26.0
IV その他有価証券評価差額金	648,455	1.4	—	—	735,622	0.8
V 為替換算調整勘定	9,276	0.0	—	—	6,470	0.0
資本合計	33,317,106	70.0	—	—	39,411,552	45.0
負債、少数株主持分及び資本合計	47,558,726	100.0	—	—	87,556,534	100.0
(純資産の部)						
I 株主資本						
1. 資本金	—		7,948,036		—	
2. 資本剰余金	—		7,994,953		—	
3. 利益剰余金	—		23,528,988		—	
株主資本合計	—	—	39,471,977	59.4	—	—
II 評価・換算差額等						
1. その他有価証券評価差額金	—		485,012		—	
2. 為替換算調整勘定	—		14,483		—	
評価・換算差額等合計	—	—	499,495	0.7	—	—
III 少数株主持分	—	—	1,624,533	2.5	—	—
純資産合計	—	—	41,596,006	62.6	—	—
負債純資産合計	—	—	66,490,558	100.0	—	—

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別		前第3四半期		当第3四半期		(参考) 平成18年3月期	
			(自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)		(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)		(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
I 売上高	43,957,425	100.0	64,144,435	100.0	96,814,364	100.0		
II 売上原価	30,255,387	68.8	44,811,977	69.9	67,077,197	69.3		
売上総利益	13,702,037	31.2	19,332,458	30.1	29,737,167	30.7		
III 販売費及び一般管理費	12,342,707	28.1	14,635,712	22.8	17,389,011	17.9		
営業利益	1,359,330	3.1	4,696,745	7.3	12,348,156	12.8		
IV 営業外収益	428,075	1.0	397,952	0.6	828,495	0.9		
V 営業外費用	33,203	0.1	53,047	0.0	48,966	0.1		
経常利益	1,754,203	4.0	5,041,650	7.9	13,127,685	13.6		
VI 特別利益	162,809	0.4	152,006	0.2	218,451	0.2		
VII 特別損失	207,943	0.5	86,324	0.1	311,254	0.3		
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,709,068	3.9	5,107,332	8.0	13,034,882	13.5		
法人税、住民税及び事業税	1,176,107	2.7	2,570,328	4.0	6,588,353	6.8		
法人税等調整額	△ 147,447	△0.3	228,765	0.4	△ 383,530	△0.4		
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 2,769	0.0	12,720	0.0	△ 255,935	△0.2		
四半期(当期)純利益	683,178	1.5	2,295,518	3.6	7,085,994	7.3		

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	期 別		前第3四半期		当第3四半期		(参考)	
			(自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)		(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)		平成18年3月期 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
			金 額		金 額		金 額	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー								
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益			1,709,068		5,107,332		13,034,882	
2. 減価償却費			897,002		616,942		1,237,274	
3. 減損損失			56,819		44,345		56,819	
4. 連結調整勘定償却			106,761		—		261,807	
5. のれん償却額			—		340,062		—	
6. 貸倒引当金の増加・減少(△)額	△	36,443		△	100,223		△	55,454
7. 賞与引当金の増加・減少(△)額	△	10,347		△	18,500		△	2,688
8. 役員賞与引当金の増加・減少(△)額		—			50,000		—	
9. 退職給付引当金の増加・減少(△)額		26,102			24,057		△	3,100
10. 役員退職慰労引当金の増加・減少(△)額		23,500		△	607,100		△	38,400
11. 受取利息及び受取配当金	△	35,532		△	68,951		△	42,219
12. 持分法による投資利益	△	77,154			—		△	429,179
13. 支払利息		17,102			40,679		△	23,875
14. 社債発行費		2,400			—		△	2,400
15. 新株発行費		803			—		△	872
16. 固定資産売却益	△	125,462		△	605		△	147,314
17. 匿名組合投資利益	△	29,728		△	37,808		△	64,081
18. 固定資産除却損		106,899			5,451		△	115,194
19. 投資有価証券評価損		4,320			—		△	4,320
20. 出資金評価損		22,609			—		△	22,609
21. 投資有価証券売却損		5,748			—		△	5,855
22. 売上債権の減少・増加(△)額		31,986,304			32,779,308		△	9,135,880
23. たな卸資産の減少・増加(△)額		81,044		△	1,378,959		△	1,085,496
24. 商品化権前渡金の減少・増加(△)額	△	431,011			676,204		△	203,728
25. 前払費用の減少・増加(△)額	△	598,429		△	545,024		△	147,235
26. 立替金の減少・増加(△)額	△	2,345			101,804		△	5,838
27. 保管手形の減少・増加(△)額		46,198			70,763		△	19,670
28. 営業外受取手形の減少・増加(△)額		699,831			41,669		△	377,620
29. 営業保証金の減少・増加(△)額	△	96,993			20,000		△	30,832
30. 仕入債務の増加・減少(△)額	△	22,734,796		△	21,758,239		△	7,492,695
31. 未払消費税等の増加・減少(△)額	△	311,615		△	299,974		△	177,473
32. 預り金の増加・減少(△)額		104,898		△	167,057		△	55,878
33. 預り保証金の増加・減少(△)額	△	27,743			155,165		△	2,375
34. 役員賞与の支払額	△	105,000		△	105,000		△	105,000
35. その他		30,290			203,634		△	644,143
小計		11,305,101			15,189,976		△	12,276,545
36. 利息及び配当金の受取額		69,365			92,028		△	74,320
37. 利息の支払額	△	16,244		△	46,518		△	24,024
38. 法人税等の支払額	△	5,521,396		△	6,815,652		△	6,162,055
営業活動によるキャッシュ・フロー		5,836,825			8,419,833		△	6,164,786

科 目	期 別	前第 3 四半期	当第 3 四半期	(参考) 平成 18 年 3 月期
		(自 平成17年 4 月 1 日 至 平成17年12月31日)	(自 平成18年 4 月 1 日 至 平成18年12月31日)	(自 平成17年 4 月 1 日 至 平成18年 3 月31日)
		金 額	金 額	金 額
II	投資活動によるキャッシュ・フロー			
1.	定期預金の預入による支出	—	△ 1,400	—
2.	定期預金の解約による収入	—	93,081	—
3.	有価証券の売却による収入	5,000	—	5,000
4.	有形固定資産の取得による支出	△ 690,405	△ 366,926	△ 784,621
5.	有形固定資産の売却による収入	361,069	5,960	395,924
6.	無形固定資産の取得による支出	△ 617,316	△ 894,601	△ 702,484
7.	投資有価証券の取得による支出	△ 720,000	△ 1,108,846	△ 920,000
8.	投資有価証券の売却による収入	—	529,328	551,585
9.	関係会社株式の取得による支出	△ 300,000	△ 50,000	△ 300,000
10.	新規連結子会社の取得による収入・支出(△)	△ 662,560	△ 9,065	△ 662,560
11.	連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 売却による収入	8,914	—	8,914
12.	出資による支出	—	△ 126,000	—
13.	貸付による支出	△ 209,450	△ 23,998	△ 215,650
14.	貸付金の回収による収入	220,198	43,438	303,461
15.	長期前払費用の支出	△ 46,616	△ 8,272	△ 48,271
16.	敷金保証金の差入による支出	△ 14,074	△ 349,071	△ 304,686
17.	敷金保証金の解約による収入	241,931	35,546	259,448
18.	保険積立金の積立による支出	△ 683	△ 819	△ 1,092
19.	その他	56	△ 308,599	190,418
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,423,936	△ 2,540,244	△ 2,224,610
III	財務活動によるキャッシュ・フロー			
1.	短期借入金の増加・減少(△)額	△ 220,200	1,081,364	79,800
2.	長期借入による収入	—	2,000,000	—
3.	長期借入金の返済による支出	262,201	△ 366,980	△ 343,268
4.	社債の発行による収入	97,600	—	97,600
5.	社債の償還による支出	—	△ 50,000	—
6.	少数株主からの払込による収入	206	—	10,319
7.	配当金の支払額	△ 1,284,808	△ 1,321,919	△ 1,384,996
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,145,001	1,342,464	△ 1,540,544
IV	現金及び現金同等物に係る換算差額	8,383	36,287	50,037
V	現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	2,276,270	7,258,341	2,449,668
VI	現金及び現金同等物の期首残高	13,326,256	15,777,313	13,326,256
VII	新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,388	188	1,388
VIII	現金及び現金同等物の四半期(期末)残高	15,603,915	23,035,843	15,777,313